協和機工株式会社　社内報
KYOWA
Kyowa Kikoh Co., Ltd.　Newsletter
Vol. 114

「今年度の目標」

代表取締役　山口　哲生

令和6年度（2024年度）のスタートにあたり、今年度の目標についてまとめてみました。

①協和機工とキョーワベトナム（以下KV）との関係性について

協和機工とKVはコロナ感染により約4年程自由な交流が出来ず、残念なことも多かったのですが、今年ようやく完全復帰できそうです。
営業的にも協和機工（66,000㎡、5工場、330名）とKV（30,000㎡、2工場、70名）を合わせて紹介するように話をしております。
操業スタイルは、協和機工が受注した仕事を協和機工とKVでシェアリングする形です。
昨今の円安は収益的にはマイナスの面もありますが、細かい対応を心掛けることで決定的なマイナスを避け一体となった企業力向上を目指します。

②労働力の減少への対応

現在協和機工には60名余りのベトナム籍の社員がおり、KV70名を含めると約130名となります。
2006年に初めて10名の技能実習生が来日して以来、16年以上を経てその間には在留制度も変わり日本人の意識もベトナム人の意識も大きく変わりました。
しかしながら問題の核心は将来にわたる日本の労働人口の減少であり、我々としては長期的な視野を持ち戦略的に最適解を見つけていきたいと考えています。

③新規事業について

我々は「モノ作り」の基盤を溶接構造物の製作においています。
従来より具体的にはSS材、SUS材、Ni合金、そしてAlと言ってきておりましたが、今年度からAlに本格的に取り組もうとしています。
正確には2度目のチャレンジですが、やはりAlは非鉄であり、性質や加工法など鉄系とは全く違うものであることから、相当の覚悟を持って取り組んでいく必要があります。

以上の3点が今年度の重点目標ですが、協和機工の経営の原点である「安定的成長」は変わらない大目標です。今年度もこれに向かって努力していきましょう。

― 以上 ―

Vol.34　籠型撚り合わせ機

撚り合わせ機は、ケーブルを撚り合わせて編み込むための装置です。「撚る」とは、ねじりあわせることです。糸などをひねって一本に合わせることを、撚り合わせると言います。
糸は1本では非常に細く強度も弱いのですが、時間をかけて複数の糸をねじりあわせることで、太く丈夫な糸になります。

この度、協和機工では全長約11メートルの大型の撚り合わせ機を製作しました。大型の撚り合わせ機は、海底ケーブルやワイヤーロープ等の作成に使われます。ケーブルには、単線と撚り線の2種類あります。ビニール等で覆われているので、一見どちらも1本の線のように見えますが、撚り線は何本もの電線によって構成されています。撚り合わせることで単線よりも柔軟性をもったケーブルに仕上がります。撚り線は柔軟性が高いため、曲げやすく切れにくいです。個人宅内でパソコンやテレビ等を設置する際に活躍します。

（撚り合わせ機の仕組み）

ボビンを取り付けた台が観覧車のゴンドラのように回転して線を撚り合わせます。ボビンに装着されたケーブルは、回転する中央のプレートの穴を通して最終的に吐出し口にて1本のケーブルとなって出てきます。籠型撚り合わせ機はプラネタリー型撚り合わせ機とも呼ばれ、撚りの回転とボビン軸の回転を同期させることで、常にボビン軸が並行に保たれ、ケーブルのねじれを最小限に抑えることができる構造となっております。そのため、撚り合わせ機の中で最も高品質のケーブルを撚ることができます。

本製品を製作する際に、組立作業が大きな課題となりました。機械を据え付ける際には、水平垂直に据付を行う必要があります。少しでも傾きがある状態で据付を行ってしまうと、機械が正常に作動しなかったり、不具合が起きることもあります。水平垂直に据え付ける作業は組立の際になくてはならないもので、技術と知識が必要な難しい作業です。
本製品は小さな部品から大きな部品までたくさんの部品を組み合わせて製作している為、最適な手順をよく検討し組立・据付を行いました。

2024年度　新規学卒者　入社式

2024年4月1日（月）、2024年度新規学卒者の入社式が執り行われました。
取締役をはじめとする幹部社員列席の中、6名が協和機工の一員として加わりました。5月1日より各部署に配属された皆さんの今後の活躍に期待しています。

第45回 創立記念式典
the 45th anniversary of foundation

去る4月6日（土）に第45回創立記念式典が執り行われ、山口社長より創立記念日を迎えての挨拶が述べられました。
また、優良社員への表彰、勤続15年、25年を迎える社員への永年勤続者表彰が山口社長より授与されました。

▲協和機工 代表取締役社長
山口　哲生

本日で創立から45年が経ちました。皆さんと無事にこの日が迎えられたことを喜び感謝申し上げます。
コロナ後のこの1年大きく変わったものにリモートによる社内外のコミュニケーションの発達があり、仕事の仕方すら変えてしまいました。それ以前の最終工程である検査中心の管理から、製作途中の生産管理に軸足が移っています。
我々はこの1年「本気のモノ作り」をテーマに客先ニーズに現実的に対応しようとしていますが、客先ニーズは常に変化していくものであり今後とも迅速かつ柔軟に対応していくことが大事です。
又、少子高齢化による労働人口の減少は、長期的視野に立って向き合わなければならない課題です。
これからもより安定して働き続けられる職場を目指して頑張っていきましょう！

本日は、創業45周年おめでとうございます。昨年も煙突やLNGタンク等の初めての工事が多く、難しい1年間でありましたが、無事に創立記念日を皆様と迎えることができ嬉しく思います。
これからは仕事の受注量が増え、今まではやってこなかった仕事に取り組む等、昨年に続き苦しい変化の時は続いていきます。
それらに対し、さらなる努力を重ね躍進していく皆様の助けになれますよう、精進していく所存でございます。皆様とともに困難に打ち勝ち、次回の創立記念日もともに迎えられますことを祈念しまして祝辞といたします。

▲協和機工労働組合
執行委員長　小谷　真悟

◆永年勤続者表彰

－永年勤続25年表彰－

（工作部　造機課
造機5係　班長）
M.M.　氏

－永年勤続15年表彰－

（工作部　造機課
造機6係　班長）
J.U.　氏

（工務部　予算管理課
課長代理）
T.K.　氏

◆創立記念日特別表彰

（総合品質管理部）
N.N.　氏

（工作部　造機課
造機6係）
M.M.　氏

（総合品質管理部
主任技師）
M.I.　氏

KYOWA NEWS ― 2024.3月～2024.5月 ―

Jobコミュニケーション

西海学園高校にて開催された「Jobコミュニケーション」に参加しました。西海学園、久田学園の高校生を対象に企業説明を行い、皆さん熱心に聞かれていました。
交流する機会が限られている中で、大変貴重な時間となりました。

消防訓練（2024.4.17）

㈱武田商事殿の監督・指導の下、毎年恒例の春の消防訓練を実施いたしました。新入社員や中途入社した方を中心に、実際の消火器を使って消火活動を体験してもらいました。

特定技能社員入社（2024.4.24）

特定技能社員2名が新たに入社しました。
これからの5年間、現場の即戦力となり将来ベトナムで活躍できる人材へ成長していくことを期待しています。

・N.X.K. （工作本部　造機課造機4係）
・T.V.P. （工作本部　造機課造機3係）

▶ 人事通信

―令和6年5月22日現在―

人事異動　（敬称略）

◆2024/04/01付

・工作本部 造機課 造機3係 班長
M.I.　(旧. 工作本部 造機課 造機3係 班長見習)

・工作本部 造機課 造機3係 班長
K.H.　(旧. 工作本部 造機課 造機3係 班員)

・工作本部 造機課 造機3係 班長
L.M.H.　(旧. 工作本部 造機課 造機3係 班員)

・工作本部 造機課 造機3係 班長
N.P.T.　(旧. 工作本部 造機課 造機3係 班員)

合格おめでとうございます！（敬称略）

・クレーンデリック運転士（クレーン限定）

令和6年3月25日　交付
K.N. （工作本部　造機課造機5係）

令和6年4月30日　交付
Y.I. （工作本部　造機課造機4係　課長）

令和6年5月28日発行　発行元/協和機工株式会社　編集責任者/協和機工㈱　社報「きょうわ」編集部
*Publication Date: 28-May.-2024 Edited & Issued by Editorial Team of Newsletter, *Kyowa,* Kyowa Kikoh Co., Ltd.